

災害の前に備えられること

「知っておきたいOITA防災」のご案内

防災に関する情報や、自助・共助・公助について、体系別にわかりやすくまとめた情報を閲覧することができます。

https://www.city.oita.oita.jp/o029/oita_bosai.html



主な掲載内容

- **自助** 日ごろの備え(非常持出品・備蓄品など)、ハザードマップ(津波・土砂災害・洪水など)、風水害対策、地震・津波対策、避難所・避難場所一覧、避難情報、要配慮者の手引き、被災後の生活再建など
- **共助** 自主防災組織の活動、補助金、災害時の避難支援の体制づくり、自主防災組織への活動支援など
- **公助** 地域防災計画、国土強靱化地域計画、業務継続計画、国民保護計画、災害時の協定、被災地支援



大分市同報系防災行政無線の運用について

大分市では、地震や津波、その他の災害等に備え、災害情報等を迅速に市民の皆さまへ伝えるために、津波浸水想定エリアを中心とした市内沿岸部の公共施設及び支所等に同報系防災行政無線を整備しています。同報系防災行政無線は、天候や風向き、家の中等、条件によって聞こえにくい場合がありますので、テレビやラジオから自ら災害情報をとるよう心がけてください。

放送する内容

Jアラート(P28参照)と連動した緊急地震速報、津波警報、市が発令する避難情報及び訓練放送等を放送します。

自動電話応答サービス

放送終了後24時間は同報系防災行政無線で放送した内容を電話で確認できます。なお、訓練放送は年8回程度実施予定となっております。



防災サイレンの信号パターン

	サイレン		
大津波警報	●— 約3秒	休止 約2秒	●— 約3秒
津波警報	●— 約5秒	休止 約6秒	●— 約5秒
津波注意報	●— 約10秒	休止 約2秒	●— 約10秒

電話番号 (※通話料無料) **0800-200-5345**

災害発生時の緊急連絡先

災害の状況	担当課	直通連絡番号
土砂崩れなどによる道路の不通	道路維持課	097-537-5674
河川の決壊、がけ崩れ	河川・みなと振興課	097-537-5632
ため池・水路・農道の決壊など	生産振興課	097-537-5627
避難に関すること	福祉保健課	097-537-5623
上下水道に関すること	上下水道局	097-538-1211 (夜間・休日)097-538-1812

家庭でも「自分の命は自分で守る」という「自助」の心構えをもって、実際に地震や風水害などが発生したときのことを想定して、各自の役割分担や避難方法、離れているときの連絡方法などを話し合っておきましょう。

ハザードマップを活用しよう

ハザードマップとは?

ハザードマップは、地震や風水害などの災害が発生したときに想定されるさまざまな被害の範囲や程度、避難場所や避難所などを示した地図です。市のホームページからお住まいの地域のハザードマップを入手して、わが家の想定被害を家族で確認しましょう。職場や学校、家族がよく行く場所も確認しておきます。市が作成しているハザードマップは、市のホームページや公式アプリにある「おおいたマップ」の各種ハザードマップからも確認できます。



おおいたマップ <https://www2.wagmap.jp/oitacity-sp/>



ハザードマップの種類はさまざま

津波の浸水範囲や深さなどを示した「津波ハザードマップ」、台風や大雨に備えて川の氾濫による浸水範囲や深さなどを示した「洪水ハザードマップ」「高潮ハザードマップ」など、さまざまな種類のマップが作製されています。

ハザードマップをもとに家族で話し合しましょう

お住まいの地域のハザードマップを確認して、事前にできる具体的な対策を家族で検討しておきましょう。

- 指定された緊急避難場所や避難所の確認
- 避難のタイミングや避難ルートの検討
- 避難ルートにある危険箇所(ブロック塀、狭い路地、古い建物など)のチェック
- 子どもや高齢者など要配慮者や避難行動要支援者への対応・避難方法の検討
- 在宅避難に備えた水や食料の備蓄
- マイ・タイムライン作成(大雨) など



ハザードマップは、あくまで想定にもとづく被害予測であり、被害予測が示されていない場所などでも、想定を上回る危険性があることを意識しておくことが大切です。